

① 誤飲

1-a 異物誤飲

第1話 ボタン電池

ある日曜日の夜、若いお父さんがゲーム機のボタン電池を入れ替えました。新しい電池を入れ、古い電池はテーブルの上に置いておきました。少し経ってから、テーブル上の電池がなくなっていることに気づき、息子に尋ねました。

3歳の息子は、「それ食べちゃった」

とにこにこしています。咳込む様子や吐くことはなく、別段変わった様子もないので、お父さんは冗談だろうと思いました。

念のため休日診療所に電話を入れて相談したところ、大きな病院を受診するように勧められました。

総合病院に電話をして約2時間後に受診しました。胸とおなかのレントゲン検査で、胃の中にボタン電池が入っていることがわかりました。休み明けの月曜日、再度レントゲン検査で、胃の中の電池は腸に移動していたので、排泄されるかどうか様子を見ることにしました*。

* 使用済みのボタン型アルカリ電池は比較的安全です。新品の電池の場合は、病院に行きましょう。

第2話 タバコをなめた

4カ月の乳児が、お父さんが吸ったタバコの吸い殻を手を持って遊んでいました。なめたらしく、唾液でタ

バコがふやけています。お父さんは乳児がいる前で、タバコを吸うことは日常的でした。

母親は病院に子供を大急ぎで連れていきました。病院では、今回は少量だったので大丈夫でしょうといわれました。（子供が1本食べると危険です。）

第3話 異物を飲んだ

家族そろって、温泉旅行に行きました。旅館に着いて、安心したのも束の間、5歳の子供が、部屋に置いてあったジュースの空き瓶を口にくわえています。底には、ドロっとした液体がた

まっています。どうやら、前の客が置いて帰り、そのままになっていたようです。中に何が入っているのかわからず、大騒ぎになりました。

病院に行き、検査をしました。何も症状がなかったので大丈夫といわれました。

第4話 シール事件

1歳の幼児が、口の中に物を入れてなめて遊んでいました。ふと、おねえちゃんが遊んでいる可愛い絵を描いた透明なシールに目が留まりました。

子供がシールをなめて遊んでいるところを、母親が目撃しました。母親が子供の口の中を見ると、口の奥の方にシールがあるのが見えたが、口を開けてくれないので、シールが取れません。



耳鼻科を受診しましたが、喉の奥の方の粘膜にシールが張り付いています。あと少し位置がずれて空気の通り道をふさぐと、窒息の危険があります。子供がじっとして口を開けていてくれないと取れないので、手術室で緊急麻酔をしてシールを取り除きました。